Qtz "TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２１年７月 ～ ２０２２年６月

国際会長主題　「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題　「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事主題　「私たちは次の世代のために何ができるか？」
東新部部長主題　「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

会　長	土井　宏二
副 会 長	―
直前会長	今井　武彦

書　記	今井　武彦
会　計	髙津　達夫
担当主事	由井　卓哉

２０２２年５月本例会（723回）

（　強調月間：ブランディング　）

今　月　の　聖　句

人が多くの年月を生きるなら
これらすべてを喜ぶが良い。
（コヘレトの言葉 11-8）

Even those who live many years should rejoice in them all.

５ 月 本 例 会 （Zoom併用型）

日 時　2022 年 5 月 17 日（火） 18：00～20：00
場 所　東京ＹＭＣＡ東陽町センター・ＹＭＣＡホール
会 費　１．５００円
＊欠席する方は5/13までに高津会計に連絡願います。

５月 ブランディングについて

今年度から新しく強調月間のテーマとして取り上げられました。ハンドブック＆ロースターのワイズ用語集にもまだ掲載されていません。ブランディングは、ワイズの知名度を上げて、ワイズのブランド力をより一層アップする運動になります。（伊丹 記）

HAPPY BIRTHDAY

16日　城井廣邦

結婚記念日おめでとう

14日　城井廣邦・姚子　18日　伊丹一之・節子

第25回東日本区大会に参加しよう！！

日 時 ： 2022年6月4日(土)～5日(日)
開 催 ： 宇都宮･Zoom形式

５ 月 本例会プログラム

	受 付　髙津　達夫
	司 会　福島和州太郎
開会点鐘	会 長　土井　宏二
ワイズソング	一　同
ゲスト・ビジター紹介	司　会
今月の聖句・感謝	今井　武彦
お食事＆情報交換	
卓話：「 わたしとＹＭＣＡ 」	
	東京むかで担当主事　由井　卓哉
強調月間アッピール	伊丹　一之
ハッピーバースデー・結婚記念日	司　会
スマイル	長谷川正雄
諸報告	
閉会挨拶	神保伊和雄
閉会点鐘	会 長　土井　宏二

２０２２ 年 ４ 月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）

会員出席状況				メーキャップ記録	スマイル	16,132 円
正 会 員	10 名	出席(メネット)	3 名		ＢＦポイント　現金累計	0 円
功労会員	1 名	出席(コメット)	0 名		切手累計	
在籍者数	11 名	出席(ゲスト)	2 名			
出席(正会員)	7 名	出席(ビジター)	0 名	0 名	リングプル　累　計	440.7 kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数	13 名	4月出席率　80%	むかで基金　今月分	16,132 円

会費振込　みずほ銀行　亀戸支店 （普通） ３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

４月　本例会報告

4月本例会は、4月19日（火）18:00～東京YMCA東陽町センターで、対面形式で開催されました。今期はコロナ禍の蔓延防止措置下のためZoomでの開催が続きましたが、マスク着用、換気対策、三密防止のもとメンバーが集まれました。

司会は今井武彦君。土井宏二会長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、ゲスト・ビジターの紹介は、スピーカー・星野太郎氏（副総主事・元担当主事）、山梨雄一氏（社体・保専校長・前担当主事）です。今月の聖句・感謝は、神保伊和雄君が担当し、ウクライナに平穏な生活が一刻も早く与えられることを祈りました。続いて、「升本」弁当で久し振りのディナータイムを味わいました。

食事後は、卓話「2022年度　東京YMCA方針」と題して、東京YMCA副総主事・星野太郎氏（元むかで担当主事）よりお話を頂きました。

【画像を使って卓話をする星野太郎副総主事】

2022年度方針の詳細な内容は、「東京YMCA」4月号に掲載されています。お話の概要は以下のとおり。

2021年度を振り返ると、コロナ禍の影響を受け、東京YMCAの活動プログラムの多くは、延期、中止或いは規模縮小せざるを得ない年度となってしまい、財政的にも厳しい1年となってしまいました。こんな中、ブランディングプロジェクトから5年の経過でYMCAブランドが整い、その働き、活動が社会で選ばれるものとなるため東京YMCAは進化していく必要があります。2022年度の運営方針の大要は、①事業再編と組織改編、②日本YMCA中期ビジョンに沿うものです。

2022年度事業計画の内容は、「事業を再編、専門性を高める」にあります。その実行性を確保するため5つの側面（①ホジティブ・ウエルビーイング（人、市民社会、地球の健康のために）、②ユース・エンパワーメント（若い力がYMCAで輝くように）、③テクノロジー・フォー・ソーシャルインクルージョン・アンド・ダイバーシティ（誰も置き去りにしないために）、④パートナーシップ（既存の組織や領域を越えてつながるように）、⑤チェンジ・エージェント（YMCAに連なるすべての人がより良く変えたいと思うように））から運営の基本方針を定めています。

これに基づいて4つの新しい事業（ウエルネス事業、国際総合教育事業、地域福祉事業、教育・保育事業）が設置され、それぞれの統括責任者のもと事業を推進します。

2022年も、4月に蔓延防止措置は解除されましたが、コロナ禍の現状は、社会構造・体制が大きく変化する兆候は小さく、社会貢献を含むあらゆる面で苦しい事業運営が想定されます。東京YMCAのスタッフと、会員が素早く社会のニーズを感じ取り、一体となって情報を共有し、情熱をもって智恵と工夫が必須です。2022年度方針はコロナ禍での守りと攻めの総力戦を内包しています。

強調月間はUN Project RBMで、髙津君が担当。誕生日は該当者なく、結婚記念日は櫻井ご夫妻（49回目）。

（髙津　記）

出席者：土井、伊丹、今井、神保、髙津、長谷川、由井、今井（メ）、髙津（メ）

Zoom：櫻井、櫻井（メ）

スピーカー：星野太郎　　ゲスト：山梨雄一　　（敬称略）

東新部第3回評議会・次期クラブ役員研修会

4月23日（土）13:30～17:30まで東新部第3回評議会・次期役員研修会がZoomにて開催されました。

松香光夫部長の挨拶に続き、大久保知宏東日本区理事挨拶。ウクライナへの支援について、日本YMCA同盟の横山由利亜理事からは、ウクライナ避難民の日本YMCAネットでの支援好事例が発表された。

・議案審議事項では、次々期東新部部長城井廣邦君（東京むかで）の体調不良により、就任不可。代わりの候補を検討する旨を今井から説明をした。
　次期部事業計画については、深尾香子次期部長より、意欲的な発表がありました。
　次期予算案については、綿引康司次期部会計より説明があった。

・報告事項では、石田孝次部会計から今期決算見込み等が発表され、コロナ禍の影響で支出が抑えられた旨の説明があった。
　各事業主査からは、コロナ禍の影響を受けて、思うような活動ができなかった旨の説明があった。特に、エクステンション担当の太田勝人委員長が、体調不良のため、委員長辞任・所属クラブ退会の発言があり、大変、悲しいことでした。

・次期役員研修会は、伊藤幾夫次期部書記の司会で進められ、次期事業カレンダー、事務上の注意事項等が説明された。

予定を大幅に超過して終了した。　　（今井　記）

出席者：今井、髙津、伊丹、福島

会　長　通　信

皆さま大変長き間お世話になりました。私の我儘で今期をもって退会をさせていただく事お許しください。早いもので会社員生活を卒業し17年間経ちました。神保さんから誘われ学荘クラブに加入し、野尻学荘の仲間と再会し、野尻湖通いが始まりました。その後あゆみキャンプのアドバイザーとして夏の野尻学荘、冬の妙高スキーキャンプ、その後むかでクラブに入会し野尻湖とは長いお付き合いでした。亡くなった妻も野尻ファミリーキャンプ、あゆみキャンプにも参加し楽しい時を頂きました。今夏は愛妻の遺影と共に独り静かに野尻湖を訪ねたいと考えています。今後は残された町会副会長、社友会相談役、東京都鳥獣保護員の任期を全うし、他人様に迷惑をかけないよう静かに暮らしたいと考えていますが、お節介大好き人間として収まるかどうかわかりません。「死生は命にありて　富貴は天にあり」を肝に銘じ、身の丈にあった生き方をしていくつもりです。

むかでクラブの皆様お身体ご自愛の上益々のご活躍を期待します。本当に有難うございました。　　（土井　記）

＜５月の予定 ＞

3日（火）東京多摩みなみ・5月本例会
6日（金）**東京むかで**・ブリテン印刷会（16:00～）
10日（火）東京・5月本例会
12日（木）東京センテニアル・5月本例会
25日（月）東京町田コスモス・5月本例会
17日（火）**東京むかで**・5月本例会 18:00～
18日（水）東京町田スマイリング・5月本例会
20日（金）東京世田谷・5月本例会
21日(土) 在京ワイズクラブ会長会・午前Zoom
24日（火）**東京むかで**・第二例会 18:00～

＜６月以降の予定 ＞

7日（金）**東京むかで**・ブリテン印刷会（16:00～）
21日（火）**東京むかで**・6月本例会 18:00～
28日（火）**東京むかで**・第二例会・下田会議（18:00～）

４ 月 第 二 例 会 報 告

4月26日（火）18:00～、コロナ感染者数の横ばいが続くなか、Zoom で4月第二例会が開催されました。
協議事項は以下の通り。

① 5月号ブリテン。担当は髙津君。原稿分担。
締切り:4/30、印刷会:5/6 16:00 の確認

② 5月本例会。
東陽町センターで食事付対面式例会。Zoom 併用。卓話者は、担当主事・由井卓哉君。お話は、「私と YMCA」。

③ 東新部第3回評議会・次期役員研修会（4/23）
緊急入院の城井廣邦君から次々期部長辞退の申出。
むかでクラブとして 5/17 の例会までに替りの人事が可能か検討して回答。

④ 次期クラブの運営の考え方の協議
・ブリテンの発送をメールに限定する。
5月号発送時にメール限定の案内を付ける。
・クラブ事業の野尻ファミリーキャンプ、思い出のランドセルギフト、シニア Y・Y・Y キャンプ等は、ウイズ・コロナのもと継続する。

⑤ 次期のクラブ運営
三役:会長＝今井、書記＝伊丹、会計＝福島
入会１名、退会１名、休会１名。

④ 60周年誌進捗状況（担当:神保・伊丹・長谷川）
今期中発行予定。メンバーの一言コメントと写真待ち

出席者:伊丹、今井、櫻井、神保、髙津、長谷川、福島、由井　　（髙津 記）

「思いでのランドセルギフト」進捗報告

4月28日（木）に第4回実行委員会を開催しました。実行委員会とジョイセフとの覚書の内容についても、双方合意に至り、いよいよ書面交付のプロセスに進もうとしています。また、ランドセルについては、神戸ポートクラブでは41個、石巻広域クラブでは130個集まっており、さらに速報ベースで石巻市内のライオンズクラブから500個ほど譲渡したい、とのありがたい申し出もいただいています。

既にセブンInc様からご寄付頂いた＄10,000USDについては、ここまで集まったランドセルの海外輸送費（@1,800円）を概ね使いきることになります。

来期の活動は各方面からの寄付集めも含め、さらに盛り上がり加速していきたいと思います。　　（福島 記）

下　田　だ　よ　り　（16）

私が住む下田市碁石が浜分譲地にウクライナ人、アレックス・クスシノフさんが数年前から家を持っていて、4月10日友人たちが企画したウクライナ支援『皆で撞こう平和の鐘を！』があり、メネットと参加した。下田郊外の寺院、向陽寺（下田達磨大師）にて参加者全員でウクライナの戦禍犠牲者に黙とうをささげ、浄財を支援寄附し、平和を願い心を込めて鐘を撞いた。

クスシノフさんは、流暢な日本語で「ロシアの侵攻からずっと悪夢のなかにいる、両親と電話をしていると、爆音が聞こえる。子供を含めて多くの人が犠牲になっている。苦しい、一日も早くロシア軍が撤退し、平和が訪れて欲しい」と涙を浮かべながら語った。

思い起こせば75年前の第二次世界大戦での東京空襲で泰明小学校3年の時に、空襲サイレンで急ぎ下校したが、その後の爆撃で担任の先生を含む3人が犠牲となった。学校の校舎は破壊され授業はできなくなり、やむなく親元を離れ、先生保母に伴われて埼玉県深谷のお寺へ学童疎開した。移動の汽車も立ちっぱなしで、ぎゅうぎゅう詰めの満員車両、二里近くの距離をリュックを背中に行進して目

的地に着いた、まだ満9歳の子供の時だった。平和が一番、戦争はダメ、ましてや侵略はあり得ない！

（功労会員・櫻井　記）

東京ＹＭＣＡニュース

▼ウクライナ募金は、4月末で一旦締切りますが、現在の状況を鑑み、5月から8月まで第二期として延長を行うことになりました。3月末現在、東京YMCA内で500万円を超える協力が寄せられました。

▼ウクライナからの避難民をヨーロッパ同盟に加入している各国のYMCAが支援している。東京YMCAではICUと協力し、ウクライナからICUに留学予定の学生に宿舎などのサポートを検討している。

▼7/3-9で世界YMCA大会がデンマークで行われる。

▼第19回会員大会が5月21日（土）に開催される。

▼社会体育保育専門学校及び国際ホテル専門学校、医療福祉専門学校の2022年度学生募集ガイダンスやイベントが開始されている。

▼野尻開荘ワークキャンプが5月2日から5日の日程で行われた。（参加者：リーダー11名・スタッフ5名）

▼野尻学荘　8月6日～19日　中高生限定40名

（由井　記）

自己紹介（担当主事・由井卓哉）

4月より東京むかでワイズメンズクラブ担当主事として皆さんのお仲間に加えて頂くことになりました。

簡単に自己紹介をさせて頂きます。1966年8月21日東京都杉並区生まれ。

YMCAとの出会いは大学1年の時に、杉並区営のプール監視員のバイト先にリーダーをしている先輩がおり、杉並センターが主催している冬のスキーキャンプに誘われたのがはじまりです。

大学時代はYMCAの活動と趣味のスキーにのめり込み、そのための軍資金としてバイトを頑張っておりました。

大学卒業と同時に、埼玉YMCAに入職し、健康教育部で水泳やキャンプ、ハンディーキャップの方々への活動などを約10年間行っておりました。その後、学生時代に行っていたアルバイト先に転職、主にオフィス家具の施工・管理などの仕事に従事しておりました。

2007年にやはり子ども達に関わる仕事がしたいと思い、探していた所、元総主事新井氏と堀口氏から東京YMCAの野外施設営業としてお誘い頂き、東京YMCAに入職しました。当時の上司は土谷氏であり、その関係でユニークダンスなど東京むかでワイズメンズクラブの皆様との関わりを持たせて頂きました。

その後、2011年4月よりグランチャ東雲担当、2012年から妙高高原ロッジ及び野尻キャンプ場を担当し、野尻学荘担当ディレクターをおこなわせて頂きました。

2016年に再度グランチャ東雲地域活動担当、2018年から東京YMCAグループのYMサービス株式会社に出向し、高尾の森わくわくビレッジにてプログラム担当として4年間努め、2022年YMサービス株式会社ファシリティ事業部及び野尻キャンプ場担当として戻って来ました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。　（由井　記）

4月会計報告 ・ リングプル報告

1　月間収入・支出合計　　期間 4/1～4/30

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	0円	14,880円
活動基金部	16,132円	3,000円

経常支出：通信切手、弁当

活動基金収入：Zoom・対面スマイル

活動基金支出：スピーカ謝礼、　（髙津　記）

2　プルタブ　4月預かり分

協力者名	重量	協力者名	重量
渋谷祐子さん	50.0kg	高津寿江m.G	3.0kg
シニアYYY後援会G.	10.0kg	あゆみキャンプG.	25.0kg
長谷川正雄氏 G	2.5kg	今月合計	90.5kg

お待たせいたしました。素晴らしいスタートを切りました。新しいプルタブ応援団メンバーとして渋谷祐子さん（板橋区在住）、長谷川正雄氏メネット和子さんの友人で昨年来から、長谷川君経由で数キロ単位での協力なされていたとのことです。今回は BIG　50.0kgの報告です。

続いて髙津君メネット高津寿江さんの大活躍、なぎなた・書道・陶芸のお弟子さん応援団等の協力で2.0kg＋（1.0kgこれはご褒美です）　3.0kgとなりました。

また、今回は緊急入院・緊急手術の城井廣邦君の応援団　シニアＹ・Ｙ・Ｙキャンプ後援会から10.0kg、あゆみキャンプ参加者G.から25.0kg、　そして、長谷川正雄君　G.への感謝を込めて2.5kg　、5月の活躍も期待しています。むかで皆さんの力結集！　（神保　記）

編　集　後　記

1956（S31）年、家族で茨城から東京・世田谷に転居し、神田の東京YMCA少年部に参加したのがYMCAとの出会いで66年。 1990年神田新館記念のイベントで、伊丹氏と出会い、むかでクラブのメンバーになって32年。約2年前から、YMCAのシンボル赤三角マーク▽の体力、気力、精神力のうち体力の複数個所に致命的な障害が発覚。休養が必要と診断。最後のブリテン編集。 有難うと感謝！

（髙津　記）